

# 予定者 生談会

## 詳報③

### 駅まちエリア活性化

永山英也さん 駅前複合施設の4月開業は非常に楽しんだ。人が集まる施設をつくることで活性化を図っていく新しい取り組みだと思う。これから、多くの市民が活用し人が集まる仕掛けを行う必要がある。カルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)に運営委託するというが、状況をしっかりと見極め、互いがアイデアを出し合う関係をつくる。

施設整備は迅速にするが、延岡がどう変わるか、都市計画の部分をつかり頭に入れた上で駅まちエリアの整備は行わなければならない。魅力的な商店の誘致や若い人が活躍できる地域としてつくっていく。IT企業の誘致も魅力的。単に客が来るだけでなく、若い人が働く場をつくることも大切だ。観光で商店街を再生した地域がある。そのような仕掛けをつかりやる。

読谷山洋司さん 交通、仕事、生活の拠点として駅まちエリアと中心市街地の再生を行う。交通の拠点としてバス交通ネットワークを整備する中で、同エリアを充実させる。

仕事の拠点としてIT企業誘致、起業支援を盛んにして空き店舗を提供する。

## 3北の独自色生かす

自宅から保育園の入手続きをインターネットでできるシステムづくりをほかの自治体と行う。情報通信技術(ICT)化を実現し、国民負担軽減の発祥の地にする。生活拠点の再生では、医師不足解消の方策を同エリアで想定している。

考えるべきなのは駅前複合施設の運営だ。今なお(CCCへの)委託料が明らかになっていない中で、市民に十分に情報公開されないまま整備が進んでいる。この問題も皆が納得するような対応をしていく。

### 3北の認識と活性化策

読谷山 合併して悪くなったという声は3北を中心に広がっているのが現実だ。そのような認識に立ち、振興にもう1回抜本的に取り組んでいく必要があると考える。

独自財源と独自権限を持ち、即断即決できる総合支所に変えていく必要がある。

主要な産業である農林水産業予算は思い切って増やす。国の過疎対策はフルに使わなければならない。過疎対策の予算が使えないにもかかわらず、いまの延岡市は使っていないという現実がある。道路は非常に遅れているので国財源を確保しながら基盤整備を行う必要がある。

「延岡合衆国」をつくるのが私の公約。選挙の大きなテーマでもある。3北独自の特色を生かす。例えば補助基準も一律でなく、それぞれの事情に応じた支

読谷山さん

## 魅力的な駅まち再生

永山さん

援をする。

永山 合併が十分に目的を果たしていないという現状認識がある。合併の目的は3町と市が一緒になることによって全体がレベルアップし地域も活力を持ち続ける。あるいはもっと元気になることだ。

大事なのは産業。それぞれの地域が持つポテンシャルを生かす。北浦は漁獲量があるのだから付加価値を付けるため水産加工の中心地として位置付ける。延岡はこれから県内林業の中心となり、たくさん良質な木材が出る。高度な木材加工など新しい産業構造を北方、北川、北浦でつくることが課題だ。農業も付加価値、ブランド力を高める。

3総合支所は一定の財源と権限を持ち、地域の特色を生かした取り組みが迅速にできるように進める。市全体の事業でも3地域をどうするか一緒に考える。

読谷山 26年間、総務省という地方財源を確保する役所で仕事をした。財源確保の役割が誰よりできる自負がある。同省は総合調整をするので各県庁に仲間がいる。国の最新の政策を把握し、全国に先駆けた取り組みを行う。日本経済を担う企業のリーダー格の人たちとのつながりもある。最新の動きをつかみ活性化させる。培ったネットワークで活性化を図れる人間だ。

私は地方公務員の経験も持つ。県庁だけでなく岡山市副市長を経験した。市民が言いたくも言えないという現状も実感してきた。そういう声を形にすることが市民主役の市政だと痛感してきた。

延岡にUターンし、子育て支援の会社を興した。厳しい経済の中、あきらめずに頑張ってきた。ゆえに市がどういう政策をするか、民間の立場で考えてきた。市民の毎日の生活と向き合ってきた。その視点をぜひ生かしたい。

のための仕事を進めていく。

政策実行にあたって一番大切なのは立案力と困難があっても何があってもぶれない力だ。そこはまさに私のセールスポイントだと思っている。

県庁マンとして買ってきたのは「前例は自らつくる」ということだ。前例踏襲、前例がないからしないでは延岡を変えられることはできない。市民の皆さんと話し、現場を見て中長期的な明確なビジョンを持ちながら進める。

### 自身の強み、市政運営

永山 私は延岡を大きく変えたいと思っている。活力が伴っていない部分をもっともっと元気にしたい。そのために必要なのは政策だ。政策立案し、実行していく力と、さまざまな方々とのネットワークだ。県内首長、国、企業、NPO、大学など36年間の県庁の仕事で本当に多くの人とつながってきた。海外も含め仕事をしてきた仲間がたくさんいる。そういう方の力をフルに動員して延岡の活力